

## 令和5年度「10月度役員会」概要報告

羽根野台自治会は、10月14日（土）に役員会を開催しました。

冒頭中野会長から、羽根野台初代自治会長の堀部氏が105歳という高齢で逝去されたこと、またウエルネス大学で日本語を学ぶネパール人留学生を多数見かけるようになったことに伴い、住民の不安感を解消するため、大学および町当局への要請を行ったことを報告しました。

次いで吉崎福祉文体部長から、敬老の日（9月18日）には110名の対象者に「花のプレゼント」を行ったこと、また中野会長から10月3～4日に開催した「無料健康チェック」には60名参加、継続して開催して欲しいとのアンケートが多数寄せられていたと報告しました。

引き続き、吉崎福祉文体部長から「利根町社会福祉協議会」の会員募集と会費徴収について、現在400世帯からの申し込みがあり、次回役員会で集約結果について報告する予定であること、また小池副会長から、11月5日（日）予定されている「防災訓練」の取り組みについて説明を行い確認されました。

籠谷会長代行から、10月28日（土）予定している「芋煮会」について、会場設営等に係る事前準備や後片付けおよび当日の運営について説明し確認されました。また林地域安全部長から、秋の草刈りは10月15日から始まるとの報告を行なうとともに、籠谷会長代行から、「赤い羽根共同募金」については、予算計上額を支出していきたい旨の提案を行い確認されました。

最後に区民センターに隣接する空き地への対応について、中野会長から現時点では取得するかどうかは全く決まっていない。12月の役員会で賛否を問い、次年度総会に議案として付議したいが、それまでの間、討議資料を作成するなどして、会員から広く意見を聴く場を設けていきたいとの説明を行いました。

